

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和7年6月18日(水) 14:30~16:30
場所 大阪府立清水谷高等学校 校長室
出席者

協議会委員	柴 浩司	出席
	須藤 隆二	出席
	西田 清盛	出席
	野原 久実	出席
	大野 広	出席
	元山 千賀	出席
校長	竹内 伸一	出席
事務局	林 拓磨	出席
	太居 豊	出席
	納江 良子	出席
	高田 雄	出席
	網 真明	出席

(敬称略)

1. 委員・事務局より自己紹介

2. 校長より挨拶

3. 資料の確認

4. 会長の選任

大野委員・野原委員より推薦があり、柴委員に会長を引き受けていただいた。

5. 学校経営計画及び学校評価について

令和6年度については、自己評価の項目において実績が出たので記載した。

令和7年度の計画について校長より説明を行った。確かな学力の定着と学びの深化のために、授業づくりチームを編成し、教員の指導力向上に努めている。今年度はすでに始めており、自教科だけではなく他教科の見学に行くようにと指示している。また、グローバル社会を生き抜く力を養うために、関西外国語大学のインターンシップ生を利用して、教科英語においてスピーキングのテスト等の協力をしてもらっている。本校の生徒はシャイな生徒が多く、もっと積極的にコミュニケーションを図ってほしいという思いがある。英単語のボキャブラリーは豊富な生徒が多いため、8月から来るブラジルの留学生とはどんどん交わって欲し

い。海外語学研修は今年度も実施予定で、25名が参加する。希望者が多いため参加枠を増やしたいが、受け入れの都合もあり人数を絞っている。また、海外から教育視察団が複数来ている。すでにインドから来校されたが、インドネシアからも来校する予定である。いじめ防止については徹底していて、アンケート等も実施し状況の把握に努めている。重大事項は生起していないが、個々の小さな出来事の記載があったため、個別に聞き取りを行っているところである。府立高校の魅力づくりとして、地元の幼稚園と交流をしている。中学校とは、不登校気味の生徒について情報交換をしたいと考えており、その兆候がある生徒については校長を通じて連絡を取っている。すでに4月より7校ほどと連絡を取り合っている。連絡を取ることで、本校の様子も知ってもらえるので良い取り組みだと感じている。学校の様子発信については、校長ブログで行っているが、今年度はInstagramについても取り組む予定である。高等学校DX加速化推進事業は今年度2年目を迎えるが、情報の授業で最先端のICT技術に触れる教育活動を行っている。

委員より質問

関西外国語大学からのインターンシップ生を英語の授業で活用しているとのことだが、NETの先生の配置状況について確認したい。

NETは専任で1名配置されている。授業での活用度合いとしては少ないかもしれない。その理由として、受験指導のために時間を多く割いていることがあげられる。NETの授業は時間割に入っているわけではなく定期的でもないが、NETの先生が日常的に生徒に話しかけてくれていて、行事等についても積極的にコミュニケーションを図ってくれている。

6. 新入生アンケートについて

事務局高田より報告。毎年入学直後に実施しているアンケートで、生徒のおおよその雰囲気をつかむために実施している。概ね例年の生徒と同様の雰囲気だが、違う点としては私立の専願と迷った生徒がやや増えたことである。私学無償化の影響により、私学の人気が上がっているが、清水谷も同様の傾向であった。ただし割合としては微増であり、全体としてみると影響は少ないように考えている。

委員より意見

私学の専願を希望する保護者は、中学校でも増えているが、それでも大阪は公立志向が根強い。とくに清水谷も含めて難関とされる公立高校は保護者からの人気が非常に高い。私学では、大阪市南部の1つの私立高校の人气が非常に上がっており、志望する生徒が多くなってきている。清水谷は普通科として、今のままの学校でいてほしい。

7. 学校特色枠について

令和10年度より設定される学校特色枠について、本校の指針を校長より示した。定員の10パーセントを採用しようとしており、清水谷の今までの教育活動やスクールポリシーに合致する生徒が受験できるように検討している。作成次第、7月中に委員の先生方にお見せし、ご意見をいただきたい。

委員より意見

清水谷高校の良さは普通科であり、全員にいろいろな活動をさせていることである。そこから興味関心を引き進路につなげていることは素晴らしく、今の清水谷を支持してくれている人をうらぎらない特色枠を設定してほしいと思っている。新たな旗印を立てる必要はないと思う。

委員より意見

清水谷高校の良さはバランスのよさであり、エンパワメントの学校や専門科がある学校と違い、特定の分野に突き抜けていないところがよい。新入生アンケートで、清水谷を選んだ理由の1位にあがる【校風】はそういうところじゃないかと思っている。なので、今までに無い特色は新しく作ってほしくはない。それにより清水谷の良さが減ってしまうと感るので、今やっていることの延長線上の特色枠であってほしい。

8. その他ご意見やご質問

委員より質問

大阪府母校応援ふるさと納税制度の状況について確認したい。

昨年度に20万円程度の寄付があった。この制度では、寄付いただいた翌年度でなければ使用できないため、2025年度の寄付金について使用できるのは、2026年度以降である。執行の計画として、中庭を使用する生徒が多いため、中庭の環境をよくすること(パラソルやミスとの整備)に使用できればと思っている。

9. 次回

2025年11月12日(水)